

切り絵新聞

令和3年7月1日

本部:群馬県利根郡川場村

日本切り絵百景館内

電話:0278-52-2022

FAX:0278-52-2181

発行責任者:後藤 伸行

第90号 (会報誌技改称)

全国切り絵同好会発行

コロナ禍の為に心が沈んでいる時こそ、私たちは切り絵の創作の為に意欲

を高め、技法の研究と普及の為に心を燃やさねばなりません。

頑張りましょう!

明年の行事日程は次のとおりです。

第30回全国切り絵コンクール審査会

令和4年6月11日(土)

於:日本切り絵百景館

額のサイズ三三(606 × 455)まで

応募作品の受付・搬入

3月7日(月)~6月8日(水)

結果発表

6月15日(水) 切り絵新聞・インターネットにて

☆ 切り絵百景館 令和4年度オープン4月9日(土)

☆ 第9回切り絵大河入選展4月9日~8月1日(月)



金谷真佐美

富山県小矢部市

第九回切り絵大河コンクール
準賞 空に向かって



平 章弘

東京都小平市

第九回切り絵大河コンクール
準賞 海ほたるP・A(パーキング)

オダマキの花にまなぶ

後藤 伸行

今年の四月初旬、私は切り絵百景館の入口近くの路傍で、美しい野の花をみつけました。三十年間川場に住んでいて、はじめて見た美しい花でした。

早速「凶鑑」で調べたところ、オダマキの花であることが判りました。

源頼朝と義経の確執の中で、義経の愛人「静御前」が鶴岡八幡宮で舞を披露した際に、

静やしずしずのオダマキ繰り返し

昔を今になすよしもがな

と歌ったことは有名なことで、なんで今この場所でのこの花が！驚きでした。

沼田、川場は太平洋から吹く風と、日本海からの風が入り混じるところ風によって運ばれる植物の種は多く千二百十八種になるという

(沼田市史自然編)

川場、沼田地区は武尊山、玉原、迦葉山、子持山等に囲まれ、植物観察コースに恵まれ植物のリストが豊富なのでありますが、この中にもオダマキの花はのっけていませんでした。

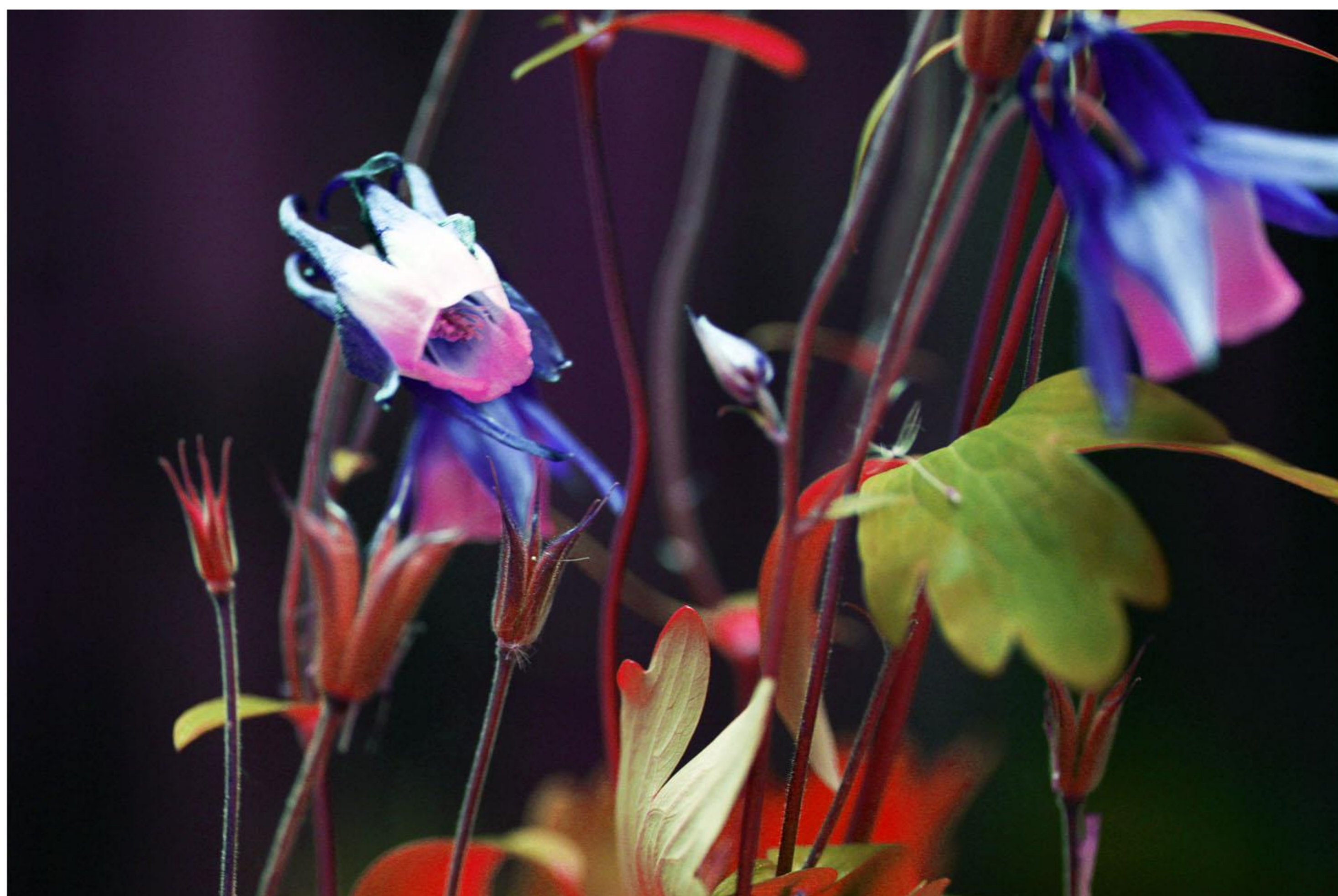


羽衣の舞 河江 文比呂

切り絵百景館を訪ねた方の車のタイヤがオダマキの種を運んできたかも知れません。エリアを丹念に探しまわりました。驚いたことに五十数本のオダマキの姿を発見しました。そしてオダマキの繁殖力に感心させられたのであります。今年の秋この花を植え直して花壇にまとめる仕事が残りました。明年の春、コロナ禍を乗り越えた日本人を祝福してオダマキが花をさかせてくれることを期待するものであります。

しずかごぜん 静御前 政没年不詳 源義経の妾。白拍子。磯野禅師の娘。平安時代末期の京都で舞の名手として知られたと伝えられる。文治元年(一一八五)十一月、義経が兄頼朝に背いて京都より逃亡した時に随行したが吉野山中で義経主従と離れて京都へ戻る途中蔵王堂で捕らえられ、京都で北条時政の尋問を受けた後、翌二年頼朝のいる鎌倉へ送られて、重ねて義経の行方につき尋問された。同年四月、頼朝夫妻の求めにより、鶴岡八幡宮で舞を舞って人々を感嘆させた。その時に「吉野山嶺の白雪踏み分けて入りにし人の跡ぞ恋しき」、「しづやしづ賤のをだまき繰り返し昔を今になすよしもがな」と歌った。頼朝はこの歌を不快に感じたが、妻の北条政子が彼ら夫妻の過去の身の上と言及してこれを宥めたと伝えられる。同年閏七月に鎌倉で男子を出産したが、この子は義経の男子であるが故に、その日のうちに殺された。同年九月に京都に帰った。その後の生活については不明である。『義経記』には二十歳の時に往生を遂げたと記されるが、信用する根拠はない。後世特に『義経記』や能『吉野静』、『二人静』および浄瑠璃『義経千本桜』四段目などによって人々に広く知られ、親しまれた。

参考文献 国史大辞典第六巻く吉川弘文館



オダマキの花

オダマキ 苧環おだまき 静御前によって歌われたオダマキには、六角の木製になる糸巻きのことである。オダマキの花の形が苧環に似ているのでこの名があり、所によっては「糸くり草」とも呼ばれている

各級の昇進申請について

11月の定期総会において承認を得ますので、各支部にて昇進の該当者を本部宛申請して下さい。申請書の締め切りは8月31日までです。

本部会員の各級認定の基準と評価項目について

資格	段位	評価項目 他
修 士	初 段	本部会員の在籍2年以上 ・在籍中に全国切り絵コンクールに2回以上出品していること
	二 段	・全国切り絵コンクールで入選していること
	三 段	・切り絵大河コンクールで入選していること
講 師	四 段	・本部会員の在籍3年以上 ・修士の資格を有し全国切り絵コンクールに2回以上入選
	五 段	全国切り絵コンクールで佳作以上に入選していること
	六 段	切り絵大河コンクールで佳作以上に入選していること
準師範	七 段	・師範の資格を有し在籍5年以上
	八 段	・当会支部の組成と会員の指導にあたっていること
師 範	九 段	・準師範として活躍し会勢の伸長につくしていること
	十 段	・百景館の行事や活動を支援協力していること ・一般公募の出品指導等
芸術家協会 会 員		・本部会員の在籍8年以上 ・全国切り絵コンクールに4回以上、大河コンクールに6回以上入選し、講師以上の認定を受けていること ・芸術協会に登録された方
永久会員		・師範の資格を有し80歳になった方を認定いたします

各級の昇進の目安をはっきりするため、段位制を導入しました。目標を高くおいて、一段一段上って行きましょう！

【切り絵のしおり】の発行について

昨年の12月1日付けで発行した「きりえのしおり」15号より、切り絵芸術家協会々員の作品集を発行しております。

それぞれの方はモノクロ・カラーの作品の別なく、光と影の構成や、黒の面や線の活かし方に心を集中しているようです。読者から「大変勉強になる」との声が寄せられ、作者からは「自分の作品を集大成して感激している」との思いが寄せられております。

19号では水谷勇氏のモノクロの作品集として発行いたしました。迫力のある作品を鑑賞していただきたいと思います

描く対象によってカラーとモノクロによる表現を、さらには一図のなかに技法を駆使することが求められているのではないかと思います。

次号からは作者が気に入った作品を、点数は18点を提供していただきたいと希望しております。編集は1と4頁はモノクロ、2と3頁はカラーの作品を中心にまとめたいと思います。コロナ禍のために、会合ができない中で勉強の一助にと願って(切り絵のしおり)に作品集を連載しました。珠玉の作品集は、やがてとりまとめて、出版すべきでありましょう。期待して掲載の順をお待ち下さい。

新潟切り絵同好会作品展

日時 令和3年7月15日(木)

7月16日(金)、17日(土) 9時30分～18時

7月18日(日) 9時30分～17時

入場無料 無料駐車場あります。

会場 新潟市美術館 市民ギャラリー

協賛出品 分水切り絵同好会



『富岳36景 神奈川沖浪裏の富士』

新潟切り絵同好会事務局

新潟市中央区二葉町1丁目822(清水方)

電話番号025-222-8297



大道芸 川越

富山県高岡市

水谷 勇